

平成 29 年 8 月 30 日

# 敬愛短大附属幼稚園だより 9月号



この夏は、それぞれのご家庭ではどのように過ごされましたか。今月もまだ暑い日が続きますので夏の疲れが残らないようにするためにも子どもさんたちの健康状態の把握は大切です。

現代社会では、私たちが子ども時代に当たり前のようになってきたことが消えつつあります。都市部では、外で火を燃やす・虫取り網を持って草むらの昆虫採集等、条例で外では火を燃やすことが出来なくなり、草むらのある空き地も減少して遊び場が室内に移行するなど、子どもたちを取り巻く遊びの環境が大きく変化してきています。そのためにも長期の休みの期間はこうした外遊びの不足を補うには大事な期間とも考えられます。

## 1 カブトムシやクワガタも本来は自然界の生き物

特定外来生物が外国から国内に入り込み、動植物共に繁殖地が広がっているものが数多くあります。最近ではヒアリが輸入貨物と共に入ってきていることはニュースにもなっていますが、従来の日本産のカブトムシの生態にも変化が出始めています。こうしたことは様々な動植物界で起きています。昆虫採集の際にわかりやすく話をしあげられると良いと思います。「カブトムシもクワガタも売っているのを買うのではなく、自分で採集に行くんだよ」と、我が家の子どもたちがまだ幼い頃に早朝を狙って採集に連れ出したことがあります。樹液から漂う独特の甘い香りを嗅がせ、近くに昆虫を集める樹液を出している樹木があることや、そうした樹液を求めてカブトムシやクワガタ、カナブンの他にも、刺されると大変なことになるスズメバチもやって来ることを体験させました。

## 2 様々な行事は家庭教育の始まり

お誕生日の他にも1年間の間には様々な家庭の記念日がたくさんあります。こうした行事を家庭や社会でどのように行うかは子どもたちの成長に影響を与えます。例えば、親の誕生日を知らない（正しい年齢を知らない）青年が増えています。生命保険契約の際の保険金受取人指名の際に（一般的には父親の指名が多い）指名した方の生年月日をお聞きすると約7割の成人の方が知らず、その場から携帯で電話して聞くという笑えない事実があります。それだけ家族の誕生日のお祝いもしていないということなのでしょう。誕生日に限らず、家庭の行事をどのように行うかについても幼少期からしっかり経験させたいものです。

## 3 自分で決める事が出来ない青年層の増加

これもまた先ほどの生命保険の契約にまつわる事例ですが、様々な説明を受け、いざ契約という最終段階で不安になり、両親に契約の決定を委ねる若手社会人の事例が増えています。もちろん、初めての大きな契約でもあり、人生の中で家を建てる事と並んで大きな支払いを要するものではあるのですが、社会的に独立しているにも関わらず、自分の意志で決められずに「親がよいというなら」という決定の責任を他に委ねる人が増えています。学生時代を含めて大事な決定を自分の意志でなく、保護者の方がすべて決めてきてしまったのでしょうか。

今回は幼児期と社会人になってからの3つのケースのお話をしましたが、要因となることが既に幼児期にあるということで話題にさせていただければと思います。また、子どもたちの楽しさの原点をつくるのが大人の責任という視点で考えていただければ幸いです。

9月も楽しさの原点づくりに職員一同がんばりますのでよろしくお願いいたします。

(園長 杉山)